

熊本地震の木造応急仮設住宅 326 戸にデコスファイバー採用 宇城市内 3 団地・50 戸で断熱施工が完了 2016 年の熊本地震から 10 年、「壊さない仮設住宅」再び

株式会社デコス（本社：山口県下関市、代表取締役社長：安成信次）は、7 月 28 日に発生した熊本地震を受け、熊本県内で全国木造建設事業協会（以下、全木協）が建設する木造応急仮設住宅において、当社が製造・販売・施工を手掛ける新聞紙を主原料とするセルローズファイバー断熱材「デコスファイバー」が採用されたことをお知らせします。9 月 4 日時点で、全木協が建設する 13 団地・326 戸への採用が決定しており、このうち熊本県宇城市内 3 団地・50 戸へのデコスファイバーの断熱施工が完了しました。



宇城市内の仮設住宅建設におけるデコスファイバーの施工の様子

宇城市 3 団地・50 戸でデコスファイバー施工が完了。仮設住宅だからこそ住環境の質を
令和 8 年熊本地震に伴い、熊本県内では建設型応急住宅の整備が進められています。9 月 4 日時点で、全木協が建設する木造応急仮設住宅は、宇城市、美里町、八代市の 13 団地・326 戸が予定されており、すべてにデコスファイバーの採用が決定しています。今後、各団地の建設工程に合わせて、デコスファイバーの施工を順次進めてまいります。

デコスファイバーは、新聞紙を主原料とするセルローズファイバー断熱材で、断熱性に加え、調湿性や防音性などの特長を備えています。夏の暑さや冬の寒さをやわらげる断熱性、湿気を吸放出する調湿性、生活音を軽減する防音性などにより、応急仮設住宅で暮らす方々の快適性やプライバシーの確保に貢献します。

全木協では、デコスファイバー採用の特長として、断熱性・調湿性、防音性、結露やカビの抑制を挙げています。

仮設住宅としての役割を終えた後の利活用も見据えた「壊さない仮設住宅」

デコスファイバーが仮設住宅に採用されるきっかけとなったのが、2016 年に熊本地震で全木協が取り組んだ木造応急仮設住宅でした。被災者ファーストを掲げ、居住者の快適性を重視したのが特長です。「壊さない仮設住宅」として、仮設住宅の役割を終えた後も、公営住宅などに転用されるなど長く地域で活用され、2023 年時点も約 8 割が市営住宅などに利活用されていました。

建物を解体・廃棄せず長く活用することは、廃棄物の削減や、新たな建設に伴う資源消費、環境負荷の抑制にもつながります。新聞紙を主原料とするデコスファイバーも、資

源を有効活用する断熱材として、こうした長く使い続ける住まいづくりを断熱の面から支えています。デコスファイバーは 2020 年の熊本豪雨災害や能登半島地震においても木造応急仮設住宅に採用され、施工実績は累計 1,854 戸に上ります。



公営住宅に転用された旧仮設住宅（奥）

2016 年 熊本地震	563 戸
2020 年 熊本豪雨	612 戸
2024 年 能登半島地震	623 戸
2025 年 熊本豪雨災害	6 戸
2026 年 令和 8 年熊本地震	50 戸（9 月 4 日時点デコスファイバー施工完了分）
累計	1,854 戸 ※2,130 戸(予定)

2016 年熊本地震での仮設住宅入居者の声

- 夏場でもエアコンの設定温度を 28℃にして快適に過ごすことができました。以前住んでいた住宅では 25℃に設定しても暑く感じることもあり、断熱の違いを実感しました。冬も暖房を入れるとすぐ暖かくなり、朝まで温かさが続きました。
- サッシがいいのは知っていたが、それだけではないと思った。朝方はマイナス 7 度まで冷え込み、霜が立ち、布団の中にもそれがわかるくらい冷え込んでいたが、ここに来てから、霜が立っているのかわからない。高齢者が多いため、皆、暖かいと喜んでいる
- 地震の前に住んでいた家では、冬は厚着をしてストーブを 2 台も 3 台もつけていた。ここにきてから暖房をあまり使っていないし、薄着でいい。布団も 1 枚で十分。関節や古傷が痛むが、この冬は体の調子がよく、治ったのかと思ったが、家がよかったんだと思う。家を建てる際には、こういう風にしなければいけない。いいところに入居できてありがたい。

デコスファイバーとは…

新聞紙を主原料とする綿状の木質繊維系断熱材（セルロースファイバー断熱材）です。木質繊維系断熱材は、断熱性だけでなく、調湿性・吸音性・防火性などにも優れており、熱（溶解・乾燥）、水（洗浄・冷却）なども一切を使用せず、電気エネルギーのみを用いて製造され、他の断熱材に比べ製造時のエネルギー消費量が圧倒的に低いのが特長です。中でも当社のデコスファイバーは製造時 CO2 排出量国内最小、国内の建築用断熱材で唯一エコリーフを取得するなど、環境性能の高い断熱材です。



<会社概要>

株式会社デコスは、新聞古紙を主原料とするセルロースファイバー断熱材「デコスファイバー」の製造・販売・施工を行う断熱材メーカーです。1996 年の断熱事業開始以来、「断熱材は施工が命」という考えのもと、製品性能だけではなく、施工品質まで含めた断熱性能の提供に取り組んできました。2026 年に断熱事業 30 周年を迎え、これからも資源循環、住宅の省エネルギー化、脱炭素化、そして住む人の心地よさに貢献する断熱材と施工の普及を進めてまいります。

企業名 : 株式会社デコス
 代表者 : 代表取締役 安成信次
 本社所在地 : 山口県下関市菊川町田部 155-7
 設立 : 1974 年 8 月 30 日
 資本金 : 30,000,000 円
 従業員数 : 29 名
 事業内容 : 断熱材製造販売・施工、FC 事業
 ホームページ : <https://www.decos.co.jp/>

【報道関係者 お問い合わせ】

デコス 広報事務局

担当 : 田所 ・ 川崎 (090-2401-4914) ・ 近藤 (090-9136-5548)

E-mail : pr@netamoto.co.jp TEL : 03-5411-0066 FAX : 03-3401-7788